メディア掲載情報　2024 年度まとめ

・**2025 年 3 月 30 日/NHK**『おはよう日本』/農工大 **小池伸介教授ら**の研究チームは、野生のツキノワグマが、わなにかかった生きたシカを襲って捕食する様子を動画で撮影することに初めて成功した、と紹介される。

・**2025 年 3 月 29 日/しんぶん赤旗**『ひと　ツキノワグマ研究者の東京農工大学教授　小池伸介さん(46)』/農工大 **小池伸介教授**が、自身のクマの研究についてのインタビュー記事が紹介される。

・**2025 年 3 月 24 日/PRESIDENT Online**『「街に出たクマは殺すしかない」クマを愛する大学教授がそう断言する理由』/記事の執筆者である、ツキノワグマ研究者の**小池伸介氏**の経歴に、農工大大学院グローバルイノベーション研究院教授、と掲載される。

・**2025 年 3 月 7 日/読売新聞**『クマ/ヒトの境界　②冬の出没　森に餌あっても人里へ　行動変化　様々なデータ必要』/森に餌があっても里に下りる傾向について、クマの生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**の見解が掲載される。

・**2025 年 3 月 2 日/読売新聞オンライン**『ワナで駆除のシカ、生きたままクマが捕食…エサ場と認識し人間が襲われるケース』/農工大 **小池伸介教授ら**の研究チームは、野生のツキノワグマが、わなにかかった生きたシカを襲って捕食する様子を動画で撮影することに初めて成功した、と掲載される。

・**2025 年 3 月 1 日/ビッグイシュー日本版**『タネをまく動物たちの秘密』/移動できない植物は、風、水、動物の力を借り、自らのタネをまいている。動物散布について、農工大 **小池伸介教授ら**への取材記事が紹介される。

・**2025 年 3 月 1 日/読売新聞**『シカ用わな、クマに注意　東京農工大撮影　エサ場と学習か』/農工大の**小池伸介教授ら**の研究チームは、野生のツキノワグマが、わなにかかった生きたシカを襲って捕食する様子を動画で撮影することに初めて成功した、と掲載される。

・**2025 年 2 月 20 日/47NEWS**『クマがわなにかかったシカを食べる光景を初撮影。新たな食料源？研究者は人とクマが遭遇する危険性を指摘する』/**農工大大学院ら**の研究チームは、ツキノワグマが「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカを襲い、食べる様子を初めて撮影した、と掲載される。

・**2025 年 2 月 8 日/読売新聞（宮城県版）**『仙台・泉区　住宅街の公園にクマ　7 日捕獲「食べ物あれば冬眠せず」』/仙台市で住宅街にクマが出没した件について、農工大 **小池伸介教授**の見解が掲載される。

・**2025 年 2 月 6 日/The Korea Times**『Bear found under blanket in Japan living room amid demographic crisis』/**Shinsuke Koike**, a professor at Tokyo University of Agriculture and Technology, notes that bears play a vital role in maintaining healthy forests and warns that indiscriminate killing could have long-term ecological consequences.

・**2025 年 2 月 2 日/長野日報社**『八面観』/農工大の**小池伸介教授**などの研究チームが、わなに掛かったシカをツキノワグマが襲っている撮影に成功した、と掲載される。

・**2025 年 1 月 29 日/神戸新聞 Next**『「ツキノワグマが生きたままのシカを食べる瞬間」動画を撮影　世界初の知見、東京農工大など』/農工大大学院グローバルイノベーション研究院の稲垣亜季乃特任助教、**小池伸介教授ら**国際共同研究チームが、わなにかかった直後のニホンジカにツキノワグマが襲いかかり、生きたまま食べる様子を初めて撮影し、国際学術誌に世界初の知見として掲載された、と紹介される。

・**2025年1月29日/Iwanichi Online 岩手日日新聞社**『人との遭遇リスク指摘　東京農工大初撮影　ツキノワグマ、わなのシカ襲う』/農工大の**小池伸介教授**（生態学）などの研究チームが、わなに掛かった生きたニホンジカを襲うツキノワグマの撮影に初めて成功した、と掲載される。

・**2025年1月27日/the Japantimes**『Black bear caught on camera attacking trapped deer in rare footage』/It was published that **a research team from Tokyo University of Agriculture and Technology** has successfully captured footage of an Asian black bear attacking a live deer caught in a trap-marking the first such recording and sparking safety concerns.

・**2025年1月27日/JIJI.COM**『ツキノワグマ、わなのシカ襲う　初撮影、人と遭遇の危険も－東京農工大』/農工大 **小池伸介教授ら**の研究チームは、わなに掛かった生きたニホンジカを襲うツキノワグマの撮影に初めて成功したと掲載される。

・**2025年1月27日/沖縄タイムスプラス**『わなのシカ襲うクマ　初撮影　日米研究チーム人と遭遇の危険性指摘』/**農工大大学院ら**研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を始めて撮影した、と掲載される。

・**2025年1月22日/中日新聞**『シカ駆除の新たな課題はクマ　猟師や家畜が襲われる懸念』/野生のツキノワグマがわなにかかった成獣のシカを襲い、食べている様子を農工大などのチームが初めて撮影に成功した、と掲載され、農工大の**小池伸介教授**がコメントを述べる。

・**2025年1月21日/とちぎテレビ**『わなにかかったシカを襲うクマ初撮影　専門家は　栃木日光市』/農工大大学院の**小池伸介教授ら**研究チームが、わなにかかったシカを野生のツキノワグマが襲いかかる瞬間をカメラがとらえた、と放映される。

・**2025年1月21日/朝日新聞**『わなにかかったシカ　クマが捕食　撮影に成功　襲うまで40分　捕獲場所学んで訪れたか』/野生のツキノワグマがわなに掛かった生きたシカを捕食する様子を撮影することに、**農工大など**のチームが初めて成功した、と掲載される。

・**2025年1月20日/産経新聞**『わなのシカ襲うクマ初撮影、研究チーム　人と遭遇の危険指摘』/**農工大大学院ら**の研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を初めて撮影した、と掲載される。

・**2025年1月20日/日本経済新聞**『わな捕獲のシカ襲うクマ初撮影　住民と遭遇　危険性指摘』/**農工大大学院ら**の研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を初めて撮影した、と掲載される。

・**2025年1月19日/中国新聞**『クマ　わなのシカ襲う　栃木で初撮影　新たな食料源の可能性』/**農工大大学院ら**の研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を初めて撮影した、と掲載される。

・**2025年1月19日/福島民報**『クマ　わなのシカ襲う　栃木で初撮影　新たな食料源の可能性』/**農工大大学院ら**の研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を初めて撮影した、と掲載される。

・**2025年1月19日/山形新聞**『クマ　わなのシカ襲う　栃木で初撮影　新たな食料源の可能性』/**農工大大学院ら**の研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を初めて撮影した、と掲載される。

・**2025年1月19日/秋田魁新聞**『クマ　わなのシカ襲う　栃木で初撮影　新たな食料源の可能性　猟増

え「錯誤捕獲」も』/**農工大大学院ら**の研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を初めて撮影した、と掲載される。
・**2025 年 1 月 19 日/新潟日報デジタルプラス**『わなにかかったシカをツキノワグマが捕食・・・獣害対策「くくりわな」がクマの食料源に？』/**農工大大学院ら**の研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を初めて撮影した、と掲載される。
・**2025 年 1 月 18 日/共同通信**『わなのシカ襲うクマ初撮影　新たな食料源の可能性も』/**農工大大学院ら**の研究チームは、「くくりわな」にかかった成獣のニホンジカをツキノワグマが襲い、生きたまま食べる様子を始めて撮影した、と掲載される。
・**2025 年 1 月 17 日/東京新聞**『わなにかかったシカ成獣捕食　「肉食グマ」新たな難題　東京農工大チームが撮影成功　食害シカ駆除危険に　猟師の安全確保は？』/野生のツキノワグマがわなに掛かった成獣のシカを襲い、食べている様子を**農工大など**のチームが初めて撮影に成功した、と掲載される。
・**2025 年 1 月 17 日/東京新聞**『最怖 OSO18 がよぎる…野生のクマが「わな」にかかったシカを食べる衝撃シーン　この先、猟師をどう守る？』/野生のツキノワグマが、わなにかかった生きたシカを捕食する様子を撮影することに、**東京農工大など**のチームが初めて成功したと掲載される。
・**2025 年 1 月 16 日/TBS テレビ**『N スタ』/野生のツキノワグマが、わなにかかった生きたシカを捕食する様子を撮影することに、**東京農工大など**のチームが初めて成功したと掲載される。
・**2025 年 1 月 15 日/朝日新聞 DIGITAL**『「わずか 40 分」わなにかかったシカを野生グマが捕食、初撮影』/野生のツキノワグマが、わなにかかった生きたシカを捕食する様子を撮影することに、**東京農工大など**のチームが初めて成功したと掲載される。
・**2025 年 1 月 13 日/大学ジャーナル**『わなにかかったニホンジカをツキノワグマが捕食　東京農工大学が記録に成功』/農工大大学院グローバルイノベーション研究院の稲垣亜季乃特任助教、**小池伸介教授**ら国際共同研究チームが、ツキノワグマがわなにかかったニホンジカを捕食している場面の記録に成功した、と掲載される。
・**2024 年 12 月 24 日/NHK**『ニュースウォッチ９』/12 月に入ってクマの目撃が多数あることに関して、クマの生態や遭遇した場合のとるべき行動について農工大 **小池伸介教授**の見解が放送される。
・**2024 年 12 月 22 日/産経新聞**『ノンフィクション産経書房編集班③タネまく動物』/農工大 **小池伸介教授**が編著の書籍「タネまく動物」が紹介される。
・**2024 年 12 月 20 日/毎日新聞**『クマ・クライシス　転換期の共存　下　保護も管理も　悩みながら　誤ってわなに　上限超える駆除件数』/クマの生態や対策に詳しい農工大 **小池伸介教授**が、クマの出没が増えた要因や、クマと人間の衝突が増えている現状について、見解を述べる。
・**2024 年 12 月 15 日/日本農業新聞**『タネまく動物』/農工大 **小池伸介教授**が編著の書籍「タネまく動物」が紹介される。
・**2024 年 12 月 10 日/読売新聞オンライン**『秋田のスーパー居座りクマ「やせていなかった…」食べ物豊富な市街地、冬眠せず出没する可能性』/秋田県のスーパーにクマが長時間居座ったニュースについて、クマの生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**（生態学）の見解が掲載される。
・**2024 年 12 月 10 日/読売新聞**『降雪期にクマ出没なぜ？相次ぐ目撃情報　スーパー居座り「やせていなかった」　県 今月末まで「注意報」』/秋田県のスーパーに侵入、2 日以上居続けたクマについて、クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**のコメントが掲載される。

・**2024 年 12 月 9 日/NHK**『ニュースこまち』/秋田県のスーパーにクマが長時間居座ったニュースについて、クマの生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**の見解が放送される。

・**2024 年 12 月 8 日/テレビ朝日**『グッドモーニング』/秋田県にクマが出没し駆除されたことについて、農工大 **小池伸介教授**のクマの生態などについてのコメントが放送される。

・**2024 年 12 月 7 日/上毛新聞社**『木質燃料の製造、鳥獣対策で連携　群馬・みどり市と東京農工大学院が協定』/群馬県みどり市は、木質バイオマスの利用促進や野生動物の管理などに共に取り組むため、農工大大学院農学研究院と包括連携協定を結んだ、と掲載される。

・**2024 年 12 月 7 日/読売新聞**『クマ居座り　発生３日前　周辺に箱わな　相次ぐ目撃情報秋田市、捕獲できず』/秋田県のスーパーに侵入、2 日以上居続けたクマについて、県内でクマの調査を行う農工大 **小池伸介教授**のコメントが掲載される。

・**2024 年 12 月 5 日/秋田魁新報**『衝撃　市街地スーパーにクマ　銃発砲　判断に難しさ　法改正方針も現場は懸念』/市街地に出没したクマへの対応の難しさについて、農工大 **小池伸介教授**のコメントが掲載される。

・**2024 年 12 月 5 日/毎日新聞**『過疎化が広げるクマの生息域　「保護」と「駆除」に苦しむ自治体』/クマの生態について詳しい農工大 **小池伸介教授**の見解が掲載される。

・**2024 年 12 月 3 日/TBS NEWS DIG**『精肉コーナーを荒らしたクマ”55 時間居座り”なぜ街へ？背景にはスーパーの特性も関係　秋田県はツキノワグマ出没注意報を延長【news23】』/秋田県のスーパーに侵入、2 日以上居続けたクマについて、クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**が見解を述べる。

・**2024 年 12 月 2 日/NHK WORLD JAPAN**『Expert: Bears may be expanding habitat near communities』/Professor **Koike Shinsuke** of the graduate school of Tokyo University of Agriculture and Technology says that as cities and towns have receded in some areas, bear habitats may be expanding. In an aging of society with a declining population, people are living in tighter clusters.

・**2024 年 12 月 2 日/TBS テレビ**『news23』/秋田県のスーパーに侵入、2 日以上居続けたクマについて、クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**のコメントが放映される。

・**2024 年 12 月 2 日/NHK**『ニュースウォッチ９』/秋田県のスーパーに侵入、2 日以上居続けたクマについて、クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**のコメントが放送される。

・**2024 年 12 月 2 日/NHK**『ニュース７』/秋田県のスーパーに侵入、2 日以上居続けたクマについて、クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**のコメントが放送される。

・**2024 年 12 月 2 日/NHK 秋田**『ニュースこまち』/秋田県のスーパーに侵入、2 日以上居続けたクマについて、クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**のコメントが放映される。

・**2024 年 11 月 28 日/FNN プライムオンライン**『「北海道猟友会」が苦渋の方針　ヒグマの「駆除要請拒否」を検討「ほかにどこへ頼んだらよいのか？」住民から不安の声も…駆除のための発砲巡り猟銃所持の許可を取り消された問題が背景に』/ハンターによるクマ駆除に係る体制の問題について、野生動物管理学が専門の農工大 **梶光一名誉教授**が見解を述べる。

・**2024 年 11 月 27 日/NHK 秋田**『ニュースこまち』/秋田でクマが出没したことについて、農工大 **小池伸介教授**のコメントが放送される。

・**2024 年 11 月 20 日/日本経済新聞**『高岡鋳物のクマよけ鈴　音色に「f 分の１ゆらぎ」　能作や山口久乗、引き合い伸びる』/富山県高岡市の伝統工芸 高岡鋳物で作ったクマよけ鈴の引き合いが急速に伸びて

いる。野生のクマ対策として、山間部のフィールドで効果があるものなのかということについて、クマの生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**の見解が掲載される。

・**2024 年 11 月 20 日/Wedge**『人口減少社会もう一つの論点　令和のクマ騒動が人間に問うていること』/農工大 **梶光一名誉教授**の記事『野生動物に“押し戻される”人間　人口減少社会の「新たな戦い」』が掲載される。

・**2024 年 11 月 16 日/東京新聞**『ヒグマ駆除要請「拒否」含め検討…なぜ　北海道猟友会　地元紙など報道　「猟銃所持取り消し」判決引き金　識者「ハンターだけに責任負わせるな」』/ハンターによるクマ駆除に係る体制の問題について、野生動物管理学が専門の農工大 **梶光一名誉教授**が見解を述べる。

・**2024 年 11 月 14 日/北海道文化放送**『「北海道猟友会」が苦渋の方針　ヒグマの「駆除要請拒否」を検討「ほかにどこへ頼んだらよいのか？」住民から不安の声も…駆除のための発砲巡り猟銃所持の許可を取り消された問題が背景に』/ハンターによるクマ駆除に係る体制の問題について、野生動物管理学が専門の農工大 **梶光一名誉教授**が見解を述べる。

・**2024 年 11 月 14 日/NHK**『北海道猟友会　市町村からの出動要請“原則応じない”含め検討』/クマの駆除の体制について、野生動物の管理に詳しい農工大 **梶光一名誉教授**が見解を述べる。

・**2024 年 11 月 14 日/TBS テレビ**『ニュース 23』/今年、北海道でクマの目撃情報が減っている。11 月のクマの状況や注意について農工大 **小池伸介教授**の解説が放送される。

・**2024 年 10 月 27 日/NHK**『おはよう日本』/クマが人里に下りてくる原因やクマ被害対策について、農工大 **小池伸介教授**の解説が放映される。

・**2024 年 10 月 27 日/朝日新聞**『フォーラム　クマと共に生きるには　捕獲・追い払い…担い手はハンターや非正規職員　銃に頼らぬ海外の事例紹介　■骨・毛皮を貸し出し教材に　あつれき減らすため各地で教育活動「人と空間・時間をすみ分ける　ゾーニング管理の実現を』/クマの生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**（生態学）が、クマ対策としてクマと人間のすみ分けのゾーニング管理について見解を述べる、と掲載される。

・**2024 年 10 月 25 日/NHK**『NEWS こまち』/秋田県内の今年のクマの状況についての特集で、農工大 **小池伸介教授**の解説が放映される。

・**2024 年 10 月 25 日/NHK**『出没 どうなる？対策は？　クマ出没ことしはどうなる？有効な対策とは？』/クマが人里に下りてくる原因やクマ被害対策について農工大 **小池伸介教授**の見解が掲載される。

・**2024 年 10 月 24 日/朝日新聞**『現場へ！自然保護　担う若手を養成　クマ対策の最前線４』/知床自然大学院大学設立財団が開催している実習「知床ネイチャーキャンパス」に、農工大 1 年の藤井陽人さんが参加し、参加後の感想を述べる。

・**2024 年 10 月 23 日/仙台放送**『「遭遇してからできることはない。出会わないことが大事」宮城県警でクマ対策の研修会』/農工大 **小池伸介教授**がツキノワグマの被害対策をテーマに講演を行った、と掲載される。

・**2024 年 10 月 23 日/河北新報 ONLINE**『クマ対策の肝は「出会わぬこと」　宮城県山岳遭難防止協が県警で研修会　東京農工大院・小池教授が講演』/農工大 **小池伸介教授**がツキノワグマの被害対策をテーマに講演を行った、と掲載される。

・**2024 年 10 月 21 日/日本経済新聞**『風紋　出没が増えるクマと人間の共生　放置柿を加工、農村再生へ』/人とクマの住み分け対策の難しさと表面化している問題について、日本クマネットワーク代表であ

る、農工大 **小池伸介教授**が見解を述べる。

・2024 年 10 月 20 日/NHK『明日をまもるナビ』/急増するクマ被害について、農工大 **小池伸介教授**が出演。解説、見解が放映される。

・2024 年 10 月 16 日/神戸新聞『＜2024 年度新聞協会賞＞連載企画「里へ」　レンズを通して見た自然　多様な環境を育む「適度な人の手」』/講評をした識者、兵庫県森林動物研究センターの**梶光一所長**の経歴に、農工大大学院教授後、2019 年に農工大名誉教授になられたと掲載される。

・2024 年 10 月 7 日/日本経済新聞『1 億人の未来図　進撃のクマ、里山に　30 年後は都市占拠か　人の活動は減少、望まぬ遭遇で被害多発　人は怖いと知らせることが大事』/人里に出没するクマの対策に対し、クマの研究を行う農工大 **小池伸介教授**のコメントが掲載される。

・2024 年 9 月 30 日/週刊プレイボーイ『全国各地で目撃情報多数、出没警報も発令中　死んだふりは NG！クマに遭遇しても生き延びる本当の方法』/相次ぐクマ被害で、実際にクマに遭遇してしまったときどうすれば助かることができるか、農工大 **小池伸介教授**へのインタビュー記事が紹介される。

・2024 年 9 月 22 日/NHK『明日もまもるナビ』/急増するクマ被害について、農工大 **小池伸介教授**が出演。解説を行う。

・2024 年 9 月 15 日/東京新聞『クマがすむ首都・東京　多摩地域目撃相次ぎ初訓練　住民「よそ事だったのに…」　生息地拡大か　被害出る前に　先進地では…共存のカギは「ゾーニング」　出没昨年上回る「地域ぐるみで対策を」』/奥多摩でツキノワグマの調査をしている農工大 **小池伸介教授**の、クマの生息域の拡大と対策についての見解が掲載される。

・2024 年 8 月 11 日/テレビ朝日『ビートたけしの TV タックル』/テーマ「8 月は危ない⁉都会でもクマ出没！その対策とは？」に農工大 **小池伸介教授**が出演、出演者らとの討論が放映される。

・2024 年 7 月 31 日/フジテレビ『世界の何だコレ⁉ミステリー』/「近年増加！なぜこんな身近な場所にクマが？各地で遭遇 緊迫の瞬間…専門家の見解は」のコーナーで、農工大 **小池伸介先生**が出演、見解を述べる。

・2024 年 7 月 24 日/日本経済新聞『市街地クマ猟銃責任誰に　発砲で銃所持許可取り消しリスク　条件緩和、ハンター注視』/クマによる相次ぐ人員被害を防ぐため、環境省が鳥獣保護管理法改正を目指す方針を決めたことに対し、農工大 **小池伸介教授**の見解が掲載される。

・2024 年 7 月 8 日/NHK『クマ出没相次ぎ国の検討会が市街地での猟銃使用の法改正案了承』/猟銃使用の法改正案について、農工大 **梶光一名誉教授**の見解が放映される。

・2024 年 7 月 4 日/NHK ニュースウオッチ 9『「こんなところで・・・」クマ目撃マップ分析　すでに市街地周辺に』/クマの出没状況と対策について、農工大大学院 **小池伸介教授**が見解を述べる。

・2024 年 7 月 3 日/日刊工業新聞『2 種のコウモリ共存の仕組み　ガの幼虫・成虫食い分け　東京農工大など解明』/農工大の**髙田隼人特任准教授ら**が、似た修正を持つ 2 種類のコウモリが共存する仕組みを明らかにした、と掲載される。

・2024 年 6 月 12 日/朝日新聞デジタル『「ある日、森の中じゃないのに、クマに出会ったら・・・」群馬県が動画』/群馬県が作成した、クマに遭遇した時の対処法をまとめた動画に、ツキノワグマの生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**のインタビューも収録されていると、紹介される。

・2024 年 6 月 10 日/日本テレビ『news every.』/クマによる被害が続く中、クマの生態について、農工大 **小池伸介教授**のコメントが放映される。

・**2024 年 6 月 10 日/NHK**『ニュースこまち』/クマによる被害が続く中、クマの生態について、農工大 **小池伸介教授**のコメント、研究映像が放映される。
・**2024 年 6 月 7 日/毎日新聞**『自然保護か利便性か　知床に携帯基地局　波紋　沈没事故後計画　保護団体が反対　専門家も懸念』/知床に太陽光パネルを設置する計画に対し、「知床世界自然遺産地域科学委員会」の元委員で、知床の環境に詳しい農工大 **宇野裕之特任教授**の見解が掲載される。
・**2024 年 6 月 3 日/FNN プライムオンライン**『相次ぐクマ被害どうする⁉"保護"か"駆除"かで揺れる対応　一時絶滅の危機も過去最多に増加【島根発】』/クマによる人的被害が拡大する中、人里へ寄せ付けないための国の対策について、農工大 **小池伸介教授**の見解が掲載される。
・**2024 年 6 月 1 日/**NHK World JAPAN『Bears on the attack in Japan』/The increasing number of bear attacks in Japan has became a problem. **Koike Shinsuke**, a bear behavior expert from Tokyo University of Agriculture and Technology, gave his thoughts on the possible causes of this problem.
・**2024 年 5 月 31 日/関西テレビ**『旬感 LIVE とれたてっ』/クマ被害のコーナーで農工大森林生物保全学研究室（**小池伸介教授**）のクマの研究映像が放映される。
・**2024 年 5 月 30 日/TSK さんいん中央テレビ**『相次ぐクマ被害　一時絶滅の危機も過去最多に増加…どうする⁉保護か駆除かで揺れる対応策（島根)』/クマによる人的被害が拡大する中、対策について、農工大 **小池伸介教授**のコメントが放映される。
・**2024 年 5 月 28 日/CBC テレビ**『チャント！』/「クマ各地に出没"子グマ襲撃"も」の中で**小池伸介教授**の研究映像が放映される。
・**2024 年 5 月 28 日/THE TIME,**『THE TIME,』/「クマ各地に出没"子グマ襲撃"も」の中で**小池伸介教授**の研究映像が放映される。
・**2024 年 5 月 27 日/朝日新聞**『都内で目撃　シカはどこから「都会の真ん中で驚き」「キョン？」はるばる埼玉から？キョンなら千葉から？』/都内で目撃情報が相次ぐシカがどこからやって来たのか、シカに詳しい農工大 **小池伸介教授**の見解が掲載される。
・**2024 年 5 月 25 日/NHK**『【岩手 NEWS WEB】専門家"若いクマが動き回る時期 鈴や笛などで対策を"』/クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**のクマの生態や被害防止についての見解が紹介される。
・**2024 年 5 月 25 日/NHK**『サタデーウォッチ９』/秋田県でのクマの被害について、農工大 **小池伸介教授**のインタビューが放映される。
・**2024 年 5 月 24 日/テレビ朝日**『報道 STATION』/千葉で増え続けているキョン対策について、東京都キョン防除対策検討委員会にも参加する、農工大 **小池伸介教授**の見解が放映される。
・**2024 年 5 月 24 日/NHK**『【秋田 NEWS WEB】専門家"若いクマが動き回る時期 鈴や笛などで対策を"』/クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**のクマの生態や被害防止についての見解が紹介される。
・**2024 年 5 月 24 日/NHK**『ニュース』/秋田県でのクマの被害を受けて、クマの出没傾向や警戒点について、クマに詳しい農工大 **小池伸介教授**のコメントが放映される。
・**2024 年 5 月 24 日/日本経済新聞**『クマ出没　AI で検知早く　人身被害防止へ国が実証実験　人の生活圏と区分　課題』/クマ被害を防ぐため、環境省や各自治体はデジタル技術を活用し迅速な情報収集に力を入れ始めた。クマの生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**のコメントが掲載される。
・**2024 年 5 月 23 日/日本経済新聞**『クマ覚醒の春、AI・ドローン網　映像解析や上空から追尾』/クマ被害を防ぐため、環境省や各自治体はデジタル技術を活用し迅速な情報収集に力を入れ始めた。クマの

生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**のコメントが掲載される。

・**2024 年 5 月 23 日/テレビ朝日**『大下容子　ワイド！スクランブル』/秋田県のクマ被害について、日本クマネットワーク代表でもある**小池伸介教授**のコメントが放映される。

・**2024 年 5 月 19 日/NHK**『ニュース７』/秋田県でのクマの事故に関して、クマの生態に詳しい農工大 **小池伸介教授**のインタビューが放映される。

・**2024 年 5 月 19 日/NHK**『ダーウィンが来た！（WEB)』/「高山に異変！カモシカ大調査」制作ウラ話が掲載される。調査・撮影中に出会ったニホンウサギコウモリなどについて**高田博士ら**が紹介する。

・**2024 年 5 月 19 日/NHK**『ダーウィンが来た！』/テーマ「高山に異変！カモシカ大調査」**高田隼人特任准教授**の研究（調査）が放映される。

・**2024 年 5 月 7 日/秋田 NEWS WEB**『【秋田 NEWS WEB】市街地周辺に生息のクマの行動　NHK 秋田や県など共同調査へ』/農工大の**小池伸介教授ら**研究グループは、クマ出没対策を検討するため、市街地周辺に生息するクマの行動パターンなどを調査することにしたと紹介される。

・**2024 年 5 月 6 日/読売新聞**『ハンター高齢化進む　クマ被害増す中で　免許 60 歳以上 6 割』/クマやシカのボランティアハンターの高齢化が進んでいる現状打破のため、今後は公務員ハンターを増やしたりする取り組みが必要、と農工大 **梶光一名誉教授**のコメントが紹介される。

・**2024 年 5 月 3 日/東京新聞 Tokyo Web**『【首都圏ニュース 群馬】クマ対策、どう強化　行政関係者ら初の研修会　群馬県内でも調査　東京農工大院教授』/クマが冬眠から覚める時季を迎え、対策に取り組む群馬県の行政関係者らの研修会が前橋市内で開催され、県内でも調査をしている農工大 **小池伸介教授**が、ツキノワグマの生態や対策を紹介したと掲載される。

・**2024 年 4 月 26 日/Explorersweb**『In Japan, Bear Attacks Surge as Authorities Warn Hikers Away』/It was introduced that **Shinsuke Koike**, a specialist in biodiversity ,forest ecosystem, and bears at the Tokyo University of Agriculture and Technology, commented to BBC as "more and more, rural farmlands in the foothills that once acted as buffer zones betweenthe bears and humans are disappearing".

・**2024 年 4 月 22 日/毎日新聞**『クマ被害防止へ連携　市町村など、初の対策会議　関東の負傷者、8 割県内　23 年度／群馬』/19 日、群馬県と市町村、県警の担当者約 50 人が参加する初のクマ対策会議が開かれ、農工大 **小池伸介教授**が、研究会でクマの生態と対策について講演したと掲載される。

・**2024 年 4 月 19 日/NHK**『群馬 NEWS WEB　県内でクマの出没相次ぐ　県職員らが対策学研修会　前橋』/農工大 **小池伸介教授**が、研究会でクマの生態と対策について講演したと掲載される。

・**2024 年 4 月 19 日/群馬テレビ**『クマによる被害防止へ　自治体や警察官など連携強化図る研究会』/農工大 **小池伸介教授**が、研究会でクマの生態と対策について講演したと掲載される。

・**2024 年 4 月 16 日/loT**『東京農工大学、周辺の環境情報を考慮したニホンジカの移動経路を予測する AI 技術を開発』/農工大学 藤田桂英教授、**小池伸介教授ら**は、周辺の環境情報を考慮しながらニホンジカの移動経路予測を行うことができる AI 技術を開発した、と紹介される。

・**2024 年 4 月 1 日/FNN プライムオンライン**『【独自】クマが“暖かい空き家”で“仮冬眠”？最後は至近距離から麻酔銃で…捕獲の一部始終　福島・会津若松市』/福島県会津若松市の東山温泉で、建物の中に入り込んでいたクマが捕獲、山へ帰されたというニュースで、農工大 **小池伸介教授**のコメントが掲載される。